## 「新しい長崎県づくり」のビジョンについて

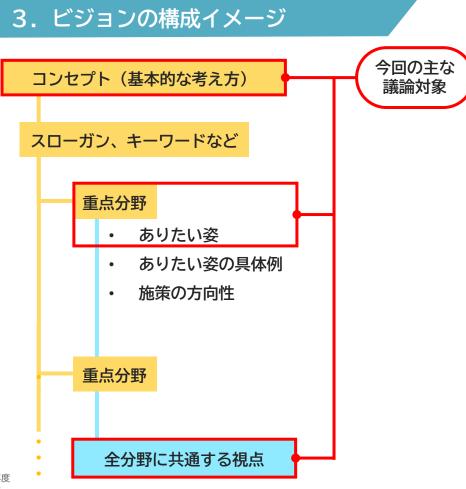
#### 1. 策定の目的

県内外の多方面から選ばれる「新しい長崎県づくり」を県民の皆様と一緒に実現するため、概ね10年後のありたい姿とその実現に向けて取り組む施策の方向性を示し、県民との共有を図るとともに、県外へも発信して長崎県のPRを図る。

#### 2 長崎県総合計画の一部見直しとの関係

- 県政運営の基本計画として、2021年度から2025年度までの 5年間を期間として定めた長崎県総合計画チェンジ&チャレ ンジ2025については、新型コロナウイルス感染症の影響など 社会経済状況の大きな変化を踏まえて、一部見直しを行うこ ととしている。
- 「新しい長崎県づくり」において、重点的に取り組む分野の 施策のうち、当面対応していく施策を総合計画の一部見直し に反映させる。





※ビジョンの全体像については、第3回懇話会において 県案をお示しし、ご意見をいただく予定。

### ビジョンのコンセプト案(骨子)

# 未来大国

- グローバル化の拡大、デジタル化の加速、脱炭素化へ向けた社会・経済のグリーン化など、様々な物事の変化が激しく、近い将来 さえも見通すことが難しい状況に加え、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、人々の意識や行動が変化。
- 本県は、まちの佇まいや産業構造が大きく変わる「100年に一度の変革」が進んでおり、その先を見据えるべき大事な時期。
- 一方、離島半島地域を多く有し、人口減少や少子高齢化が全国よりも早く進み、2040年頃には生産年齢人口が県人口の5割を切る ことが予測されており、労働力不足や地域経済の縮小、公共交通・地域コミュニティの維持・確保の問題等の様々な影響の懸念があ るなど、いわば「課題先進県」。
- しかし、見方を変えれば、課題解決に向けた新しいテクノロジーの社会実装などを全国に先駆けて進めることができるチャンスに 恵まれており、遠からず同じような課題に直面するであろう他の地域をリードしていくポテンシャルを有している。
- また、本県には、多様で豊かな自然、そこから生まれるおいしい食べ物、そして世界と交流しながら築いてきた歴史や文化、ホスピタリティあふれる温かい人と豊かなコミュニティなど、誇れる資源が数多く存在。
- 不確実性が増し、依然として厳しい状況が続く社会経済状況の中、長崎県のまちや産業構造の大きな変化、課題先進県であるから こそのチャンス、これまで築いてきた誇れる資源を活かして、県全体が先細りしていく雰囲気を振り払い、明るい未来を県民の皆様 と一緒につくっていきたい。
- 複雑かつ多様化する課題を乗り越えて、明るい未来をつくっていくためには、これまでの縦割り主体から、部局横断的な取組みを 強める必要があるとともに、様々な立場の皆様が同じ方向に向かって、有機的に連携していくことが大切。
- 鎖国時代、「DEJIMA」を通して世界に開かれた日本の窓であった長崎では、様々な文物が混ざり合って新しい知識が生まれ、それを求めて日本中から希望や期待を抱いた若者が多く集まってきた。
- そうした長崎のDNAをいまに蘇らせ、県民の皆様が誇りをもって、国内のみならず世界に存在感を示す長崎県をつくっていきたいとの思いから、皆様と思いを一つにして取組みを進める旗印として、「未来大国」をコンセプトとするビジョンを策定する。 ■

### 未来大国の主な柱(案)

#### 〈主な柱の選定理由〉

- ・ 県政の基軸に位置付けている子ども施策
- ・ より重点的に注力したい分野

こども大国

交流大国

イ<mark>ノベーショ</mark>ン 大国

# 未来大国

食の大国

#### 一 共通する視点 一

- ○デジタル技術の活用
- ○戦略的情報発信・ブランディング
- ○人材確保・育成

健康大国



# 未来大国の主な柱とありたい姿を議論するためのキーワード <sup>資料1</sup>

こども大国	交流大国	イノベーション大国	食の大国	健康大国
・子ども目線、親目線 ・素敵な出会い ・地域ぐるみの子育て ・子とも一を中心では、 ・子ともでするででででででででででででででででででででででででででででででででででで	・ 本 、	<ul> <li>新産業の創出・育成</li> <li>新に対応した力</li> <li>新たな産業の創出・育成</li> <li>新たな産業の創出を創出を創出を創出を創出を創出を対した。</li> <li>一を受けるできまりがいままが、</li> <li>一を受けるのでできまりができまりができまりができますが、</li> <li>一を表するのでできまりがののできますが、</li> <li>・環境を表がいののできますが、</li> <li>・現境を表がいののできますが、</li> <li>・現境を表がいののできますが、</li> <li>・現境を表がいままますが、</li> <li>・現場を表がいまますが、</li> <li>・現場を表がいますが、</li> <li>・のは、</li> <l< td=""><td><ul> <li>本県の特色ある食べ物の ・ 本県の特色の ・ はいかいた</li> <li>・ 場上の特色の ・ はいからいた</li> <li>・ 豊田の、中のののののののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでである。</li> <li>・ はいれるでのでのでのででいるでのででいるででである。</li> <li>・ はいれるでのででは、まれるででである。</li> <li>・ はいれるでのででは、まれるででは、まれるではないるではないるではないるではないではなるではないるではないるではないるで</li></ul></td><td>・ 一人 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td></l<></ul>	<ul> <li>本県の特色ある食べ物の ・ 本県の特色の ・ はいかいた</li> <li>・ 場上の特色の ・ はいからいた</li> <li>・ 豊田の、中のののののののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでである。</li> <li>・ はいれるでのでのでのででいるでのででいるででである。</li> <li>・ はいれるでのででは、まれるででである。</li> <li>・ はいれるでのででは、まれるででは、まれるではないるではないるではないるではないではなるではないるではないるではないるで</li></ul>	・ 一人 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で
していくための学び				



# 各柱に共通する主な視点を議論するためのキーワード

デジタル技術の活用	戦略的情報発信 ブランディング	人材確保・育成
• 人的資源の克服	・ 国内外から選ばれる長崎県のステータス	・ 本県産業の活性化や地域活力の維持
• 効率化、迅速	の向上	・ 働き手の減少への対応
• 生産性向上	• 分野横断	• 高齢者や女性の活躍
• 新産業創出	・ マーケティング	・ 外国人などの多様な人材の活躍
• 競争力強化	• 情報発信力強化	・ 魅力的で良質な就業の場の創出・拡大
・ 県民の暮らしの質の向上	・ 広報マインドの醸成	・ リスキリング
• 産業振興	・ グローバルな認知獲得・向上	